



ぞんにんじこかい 存仁寺子ども会



へいせい ねん がつ にちはっこう
平成28年2月11日発行

季節は、もう春。まだまだ寒いですが、でも、よく見るとすこしずつ春に向かって動いています。ほら、梅の花も咲いてきました。花が咲くには、大地に根を張って、水などの栄養を取り入れます。また、太陽の日差しをいっぱい受けてつぼみをつけ、花を咲かせるのです。花が咲くことは、いろいろな恵みをいただくのですね。私たちも、「生きる」ことはお父さんお母さんおじいちゃん、おばあちゃん、先生、友達、出会った方々、みんなのすきなお肉、魚、野菜までも沢山の「いのち」があるのです。そして、いつでも、どんな時でも慈しみの心を持って照らし育ててくださる阿弥陀さまの恵みがあります。

これからの予定

2月 21 日(日) 10 時～12 時

日曜学校・子ども会



3 月 13(日)、3 月 27(日) 10 時～12 時

日曜学校・子ども会

お知らせ



4 月 1 日(金)

京都西本願寺参拝(別紙)

4 月 10 日(日) 9 時 30 分～12 時

第 10 回すずかそはなまつり

出演者募集中(別紙)

子ども用のお経本を購入される方は300 円お持ちくださいね。

* 今月のことば *

ナモアミダブツは
声の仏さま



ケイくんのおじいちゃんは、いつも「ナモアミダブツ、ナモアミダブツ」と、お念仏をしています。仏さまにお参りする時だけでなく、畑仕事をしている時も、お風呂に入っている時も、いつでもお念仏です。

ケイくんは不思議に思っ、ある日おじいちゃんに尋ねました。

「おじいちゃんは、なんでいつもナモアミダブツって言うの？」

「ナモアミダブツはね、声の仏さまなんじゃよ。アミダさまが声の仏さまになって、「一緒にいてくださるんじや。だからね、アミダさまが今ここに一緒にくださっていることを感じたくて、お念仏しているんじやよ」そう言っ、おじいちゃんは微笑んでくれました。

ケイくんは思いました。おじいちゃんには、いつもアミダさまが「一緒なんだよ。ケイくんは、なんだかうれしくなり、自分も「ナモアミダブツ」と口に出してみました。

(きたしま ぶんゆづ)



さくねん がっ にち ほうおんこう

昨年12月5日にこども報恩講をおつとめしました。

かね しょうじん た
鐘をついて、精進カレーを食べて、おつとめ、レクリエーション、など
きかく も
企画が盛りだくさん！！

「どうしてお参りをするの？」「お寺ってなんだろう？」こんな疑問も、
かねこ
金子みすゞさんの「わたしと、ことりと、すずと」の詩から、
しがや たいせつ
ひとりが輝いている。ひとりひとりが大切なんだよ。”ということ
き
気づかせてもらう場所がお寺なんだな～とみんなで聞きました。



せーのっ！



なーもあみだ〜んぶ



おやなえとして！



しんけんです



どうして
お参りを
するの？



みんなでレクリエーション！



お土産〜♪

